

Basix ソフトフォン
ご利用マニュアル
(Android版)



「目次」

- 1. 利用条件について
- 2. インストール手順について
- 3. 利用方法について
 - 3.1. 発信
 - 3.1.1. IPボタンからの発信
 - 3.1.2. Mobile0091ボタンからの発信(※)
 - 3.1.3. 電話帳からの発信
 - 3.1.4. 通話履歴からの発信
 - 3.2. 着信
 - 3.2.1. 着信を取る
 - 3.2.2. 着信状態を継続する
 - 3.2.3. 着信を拒否する
 - 3.2.4. 着信の設定について
 - 3.3. 転送
 - 3.4. 通話中の操作について
 - 3.4.1. 通話の保留
 - 3.4.2. 通話中の番号入力について
 - 3.4.3. 会議電話について
- 4. ボイスメール通知について
 - 4.1. ボイスメール通知の確認
 - 4.2. ボイスメール確認方法
- 5. サポートについて
 - 5.1. サポート範囲について
 - 5.2. 保証対象外の問題の例について
 - 5.3. 無料音声テストサービスについて
- 6. サポートに連絡する前に
 - 6.1. 問題の連絡前に確認が必要な項目について
 - 6.2. 問題の切り分けについて
(Wi-Fiネットワークが問題の場合)
- 7. Basixソフトフォン上のデータの取得について
- 8. 利用上の注意事項について
 - 8.1. Basixソフトフォン アプリケーション上の注意点について
 - 8.2. 通信回線上の注意点について
 - 8.3. ご利用機器の注意点について
 - 8.4. 利用できないネットワークについて
 - 8.5. 管理画面設定変更が問題の場合
 - 8.6. Wi-Fi環境の品質について
 - 8.6.1. APへの接続台数
 - 8.6.2. Channel分けについて
 - 8.6.3. 11a/n 5GHz帯非対応機種について
 - 8.6.4. 電波の届く距離と速度について
 - 8.6.5. 障害物について
(表1)
 - 8.6.6. 電波干渉について
 - 8.7. 3G環境について
 - 8.7.1. ビル内外の接続品質について
 - 8.7.2. お客様宅内で3G環境が利用できない場合
 - 8.8. Bluetoothヘッドセットの利用について
 - 8.9. 履歴の表示について
 - 8.10. その他注意事項について



利用条件について



1. 利用条件について

1 アカウント

Brastel株式会社が提供する【Basixサービス用SIPソフトフォンアカウント】を利用します。

2 対応機種

動作可能: Android4.0以上

3 通信環境について

- 3G
- WiFi
- LTE

スムーズな通話のために、下記の通信帯域を確保しておく必要があります。

- 上り: 100Kbps以上
- 下り: 100Kbps以上



インストール手順について

2

2. インストール手順について

1 Playストアを開きます。



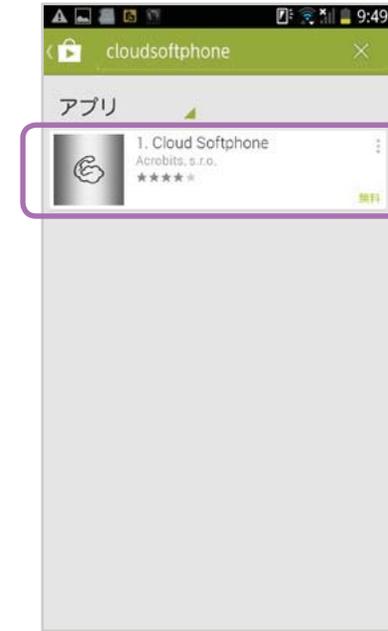
(図1)

2 検索バーにCloudsoftphoneと入力します。



(図2)

3 表示されたCloud Softphoneのダウンロードアイコンをタップします。



(図3)

4 図4の【インストール】アイコンをタップします。



(図4)

5 下図の【同意する】をタップします。



(図5)

6 インストールが完了しましたら、【開く】をタップします。



(図6)

- 7 **図7**が開きましたら、Basixと入力し、【Sign In】をタップします。



(図7)

- 8 **図8**が開きましたら、Brastelから発行しております、サービス開通通知書を参照し、ユーザー名、パスワードの内容を入力します。



(図8)



利用方法について

3

3. 利用方法について

3.1. 発信

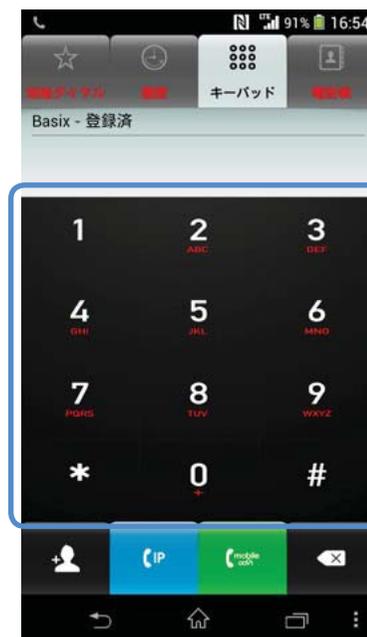
3.1.1. IPボタンからの発信

1 図9【キーパッド】アイコンをタップすると、キーパッド画面が表示されます。



(図9)

2 キーパッドから相手先の電話番号を入力します。



(図10)

3 相手先の電話番号を入力後、図11【IP】アイコンをタップすると発信します。



(図11)

※ 番号を間違えた場合、下記アイコンで間違えた番号を削除してください。

-  全て削除
-  1文字削除

3.1.2. Mobile0091ボタンからの発信

- 4 通話を終える場合、**図12【通話終了】**アイコンをタップします。



(図12)

Mobile0091ボタンから発信すると電話番号を登録した私用の携帯電話などから、Basixの番号を通知して発信できます。課金もBasix側に課金されるため、1台の電話機でビジネスとプライベートの使い分けができます。また携帯電話回線を使つての発信になるので、安定した音声品質で通話ができます。(※)

※ 通話料金がIPボタンからの発信の場合と異なります。
下記アドレス【ご利用料金】、公私区分ご利用時の通話料金をご参照下さい。

<http://basix.ne.jp/Pages/jpn/service/rates.html>

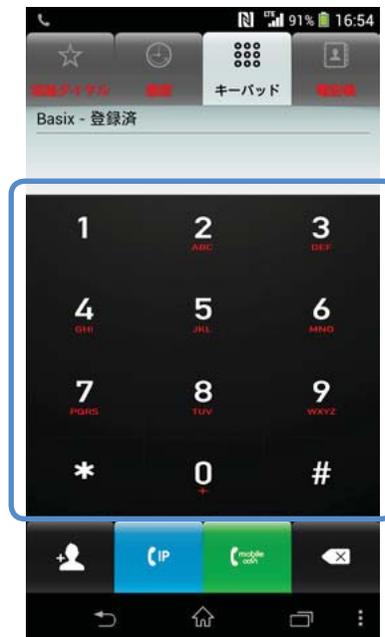
※ 電話機能がない場合は利用できません。
(SIMがデータ通信のみの場合等)

- 1 **図13【キーパッド】**アイコンをタップすると、キーパッド画面が表示されます。



(図13)

- 2 キーパッドから相手先の電話番号を入力します。



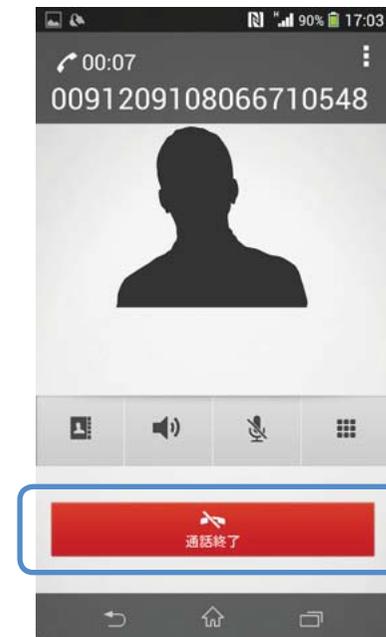
(図14)

- 3 相手先の電話番号を入力後、**図15【mobile0091】**アイコンをタップすると発信します。



(図15)

- 4 通話を終える場合、**図16【通話終了】**アイコンをタップします。



(図16)

※ 番号を間違えた場合、下記アイコンで間違えた番号を削除してください。



3.1.3. 電話帳からの発信

1 【電話帳】をタップし、かけたい相手を選択します。



(図17)

2 図18が表示されたら電話番号をタップします。



(図18)

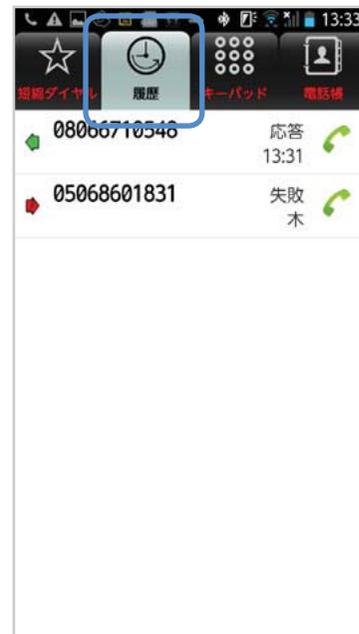
3 呼び出します。



(図19)

3.1.4. 通話履歴からの発信

1 図16の【履歴】をタップし、履歴画面を表示させます。



(図20)

2 履歴画面を表示後、発信した相手先の【受話器アイコン】をタップします。



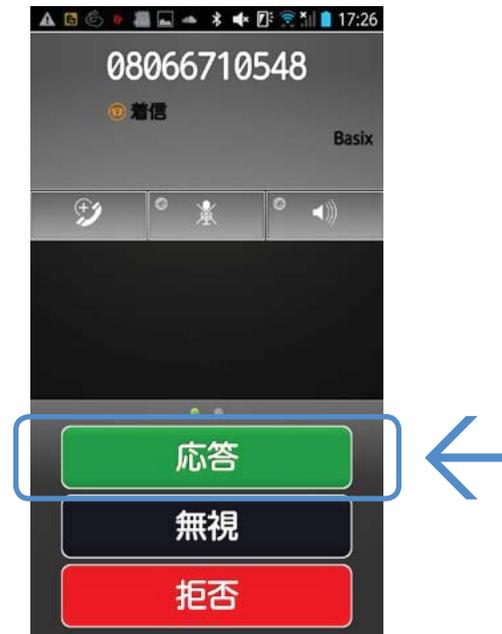
(図21)

3.2. 着信

着信時は、「応答」、「無視」、「着信拒否」のオプションがあります。

3.2.1. 着信を取る

着信を取る場合は、【応答】アイコンをタップします。



(図22)

3.2.2. 着信状態を継続する

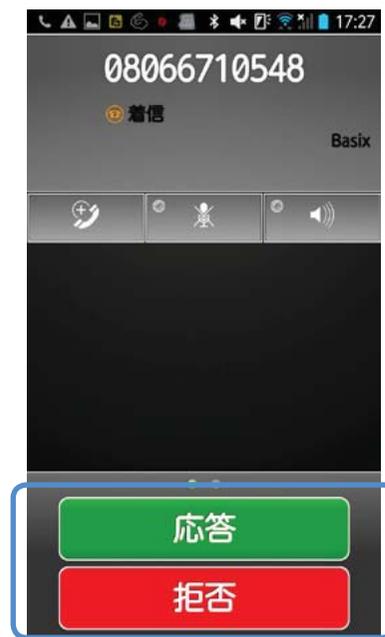
❶ 着信状態を継続する場合は【無視】アイコンをタップします。



(図23)

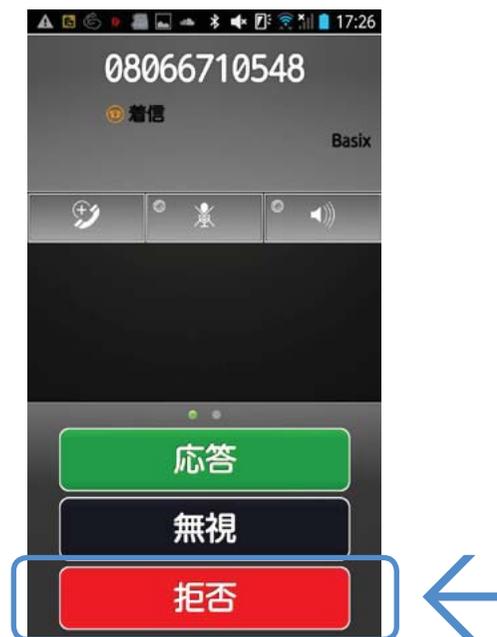
3.2.3. 着信を拒否する

- 2 着信状態を無視で継続した後も、【応答】、【拒否】を選択することができます。



(図24)

着信を拒否する場合は、**図22**【拒否】アイコンをタップします。

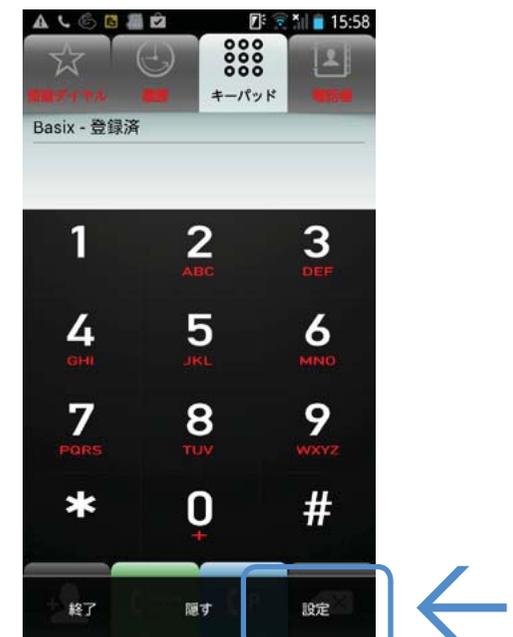


(図25)

3.2.4. 着信の設定について

下記手順で着信の方法を切り替えることができます。

- 1 アプリケーションを起動します。
- 2 Basixソフトフォンのキーパッド画面で、メニューを開き【設定】をタップします。



(図26)

※ 同じアカウントを利用している別の端末がある場合は、拒否を押しても別の端末が鳴り続けます。

3.3. 転送

- 3 【Incoimg Calls】右のプルダウンリストをタップします。



(図27)

- 4 【Use Push Notifications】、【フォアグラウンド中のみ着信】のどちらかを選択し、チェックを入れます。



(図28)

- 1 通話中に保留をタップします。(※)



(図29)

- プッシュ通知
Basixソフトフォンがバックグラウンドの状態、またはご利用端末の電源OFFの場合も着信します。
- フォアグラウンド中のみ着信
画面が表示中の時のみ着信します。

※ 保留をタップしなくても、転送はできますがダイヤル音が相手に聞こえてしまいます。

- 2 【+受話器】アイコンをタップします。



(図30)

- 3 転送先の電話番号を入力し、【IP】アイコンをタップします。



(図31)

- 4 転送先が電話に出れば、通話状態になります。
5 転送先と通話状態で、保留転送をタップします。



(図32)

3.4. 通話中の操作について

3.4.1. 通話の保留

- 6 ディスプレイに表示される相手の番号をタップします。



(図33)

通話を保留状態にします。保留の間は通話中の相手には保留音が流れます。

【保留の操作方法】
通話中に図35のアイコンをタップします。



(図34)

- 7 通話が転送されます。

3.4.2. 通話中の番号入力について

【保留の解除方法】
保留中に図36のアイコンを
タップします。

1 通話中に図37の【キーパッド】
アイコンをタップします。

2 図38の通り、キーパッドが
表示されたら目的の数字を
タップします。



(図35)



(図36)



(図37)

3.4.3. 会議電話について

1 通話中に保留をタップします。



(図38)

2 【+受話器】アイコンをタップします。



(図39)

3 転送先の電話番号を入力し、【IP】アイコンをタップします。



(図40)

※ 保留をタップしなくても、転送はできますがダイヤル音が相手に聞こえてしまいます。

- 4 転送先が電話に出れば、通話状態になります。
- 5 転送先と通話状態で、**図42**の参加をタップします。

- 6 3者で通話が可能になります。



(図41)



(図42)



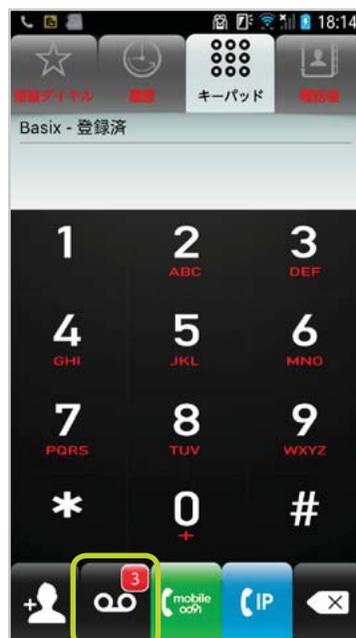
ボイスメール通知について

4

4. ボイスメール通知について

4.1. ボイスメール通知の確認

お預かりしているメッセージがある場合、**図44**のボイスメールアイコンが表示されます。



(図41)

4.2. ボイスメール確認方法

ボイスメールアイコンをタップすると、自動応答で案内されます。



(図42)

※ボイスメールアイコンをタップして、聞くことのできるメッセージはユーザー宛のメッセージのみとなります。グループ宛のメッセージを聞く場合は、9001をダイヤルしてください。
※案内される言語はEasyCallで設定されている言語により変わります。

【自動応答の内容】

『新しいメッセージは-件あります。1番目の新しいメッセージです。』

(日時を読み上げ)
(メッセージ再生)

『もう一度メッセージを聞くには1』
『メッセージを保存するには2』
『メッセージを削除するには7を押してください。』

※押さないと自動的に保存されます。

【1を押した場合】

メッセージが再度再生されます。

【2を押した場合】

『メッセージを保存しました。』というプロンプトの後、メッセージが保存されます。

【7を押した場合】

『メッセージを削除しました』というプロンプトが流れ、メッセージが削除されます。

上記、どれかの番号を押した後、2番目の新しいプロンプトに移ります。新しいメッセージを全て聞いた後、下記のプロンプトが流れます。

『新しいメッセージはありません。保存されたメッセージは-件あります。』
『新しいメッセージを聞くには1』
『保存されたメッセージを聞くには2』
『終了する場合#を押してください。』

【1を押した場合】

同じプロンプトを繰り返します。

【2を押した場合】

『1番目の保存されたメッセージです。』
(日時を読み上げ)
(メッセージ再生)

メッセージ再生後、下記のプロンプトが流れます。

『もう一度メッセージを聞くには1』
『メッセージを保存するには2』
『メッセージを削除するには7を押してください』

【#を押した場合】

『ご利用ありがとうございました。』というプロンプトが流れ、通話が終了します。



サポートについて

5

5. サポートについて

5.1. サポート範囲について

Basixソフトフォン利用の場合の対応範囲については下記の通り規定いたします。

- 障害の原因が弊社サーバー、またはサーバー側ネットワーク以外にある場合、サービス品質、または問題解決を保証できない場合があります。

サポートが可能である範囲、また保証ができない範囲は下記の通りです。

【サポート可能】

- 問題箇所の切り分け
⇒ サーバー側か、弊社ネットワークか、お客様ネットワーク/端末
- 切り分けから障害内容の推測
- サーバー側、弊社ネットワークに問題が発生した場合の調査、問題解決

【保証ができない】

- 弊社設備外 (端末、お客様ご利用のネットワーク) に問題があった場合、問題発生理由の証明及び、問題解決

上記理由により、対応範囲を下記通りに致します。

【対応範囲】

① 全体に影響ある問題については下記の通り調査、対応いたします

- センター側を通るデータをキャプチャーし、データ解析
- 調査結果から問題の根本解決
- 根本解決までのWorkaroundの提示

② お客様個別の問題について

- 弊社側のテスト結果、対応履歴からお客様の問題を推測し、対応方法について助言を行う
- 特別な理由(営業上の理由)がなければ、データをキャプチャーし、解析を行わない(コストのため)
- 利用できなければ別の端末、別のアプリケーション、別のネットワークでの利用を案内。

5.2. 保証対象外の問題の例について

具体的な保証対象外の問題の例について下記の通り説明致します。

1 音質の問題

⇒ 音声品質に関しては、弊社設備外が発生している場合があります。保障できかねます。

2 利用端末に起因する問題

⇒ 音声ストリーミングデータがBrastelサーバー側まで届いていない。(端末から音声ストリーミングデータが送信されていない)

3 プッシュ通知用のサーバーに起因する問題

⇒ 着信時にプッシュ通知用のサーバーに通信情報が送られた

が、プッシュ通知用サーバーから通信がBrastelサーバーまで届いていない。

4 お客様ご利用の無線ネットワークに起因する問題

⇒ お客様ネットワーク上から必要な通信が送られていない。

5 端末、またはプッシュ通知用サーバーに起因する問題

⇒ Basixソフトフォンを隠す、または終了した後すぐに着信を受けられず、留守番電話に繋がる。

5.3. 無料音声テストサービスについて

Basixソフトフォンから下記の無料音声テストサービスの番号に電話をかけることで現在利用している端末、ネットワークでの音声品質を確かめることができます。

電話番号: **050-6868-0000**

【無料音声テストサービスの内容について】

上記番号にかけると下記のプロンプトが流れます。

『こちらは音声テストサービスです。』

『発信音の後にお客様の声を録音して下さい。10秒後に再生されます。』

上記プロンプト後、『ピ』という音が流れれば録音可能です。
10秒間録音した後、『ピ』という音が流れ、録音した音声再生されます。

『あなたの声が正しく再生されていれば、接続などの設定には問題ありません。もし正しく再生されない場合は、端末設定やネットワークの接続をご確認いただくか、ブラステルカスタマーサービスまでお問い合わせください。』

ブラステル音声テストサービスをご利用いただき、有難うございました。』

上記テストで音質が悪かった場合、お客様ご利用のネットワーク、またはマイク、スピーカー設定に問題がある可能性があります。
また、音声録音できていない場合は、ご利用の端末のマイクデバイスの仕様とソフトウェアの仕様の違いにより利用できない可能性があります。



サポートに連絡する前に

6

6. サポートに連絡する前に

6.1. 問題の連絡前に確認が必要な項目について

サポートに連絡する前に、下記内容を事前にご確認お願い致します。

- 端末のモデル名 (例:SO-01F)
- Androidバージョン情報
- Basixソフトフォンのバージョン情報
- ユーザー名
- 相手先電話番号
- 問題の発生時間
- 利用していたネットワーク情報 (例:Wi-Fi、LTE)
- Wi-Fi環境を利用していた場合、ルーターの型番

6.2. 問題の切り分けについて(Wi-Fiネットワークが問題の場合)

Wi-Fi経由でレジストできない場合は、3G回線経由でレジストを行ってください。

⇒ BasixソフトフォンでWi-Fi優先に変え、且つスマートフォンのWi-Fi接続を切断することで、3G回線経由でレジストを試すことができ、Wi-Fiネットワークに問題があるかどうか切り分けができます。

- 1 Basixソフトフォンの設定画面で、【設定】をタップします。



(図45)

2 【環境設定】をタップします。



(図46)

3 環境設定画面でWi-Fi設定をタップします。



(図47)

4 【Wi-Fi優先】にチェックを入れます。



(図48)

- 5 スマートフォンのシステム設定をタップします。



(図49)

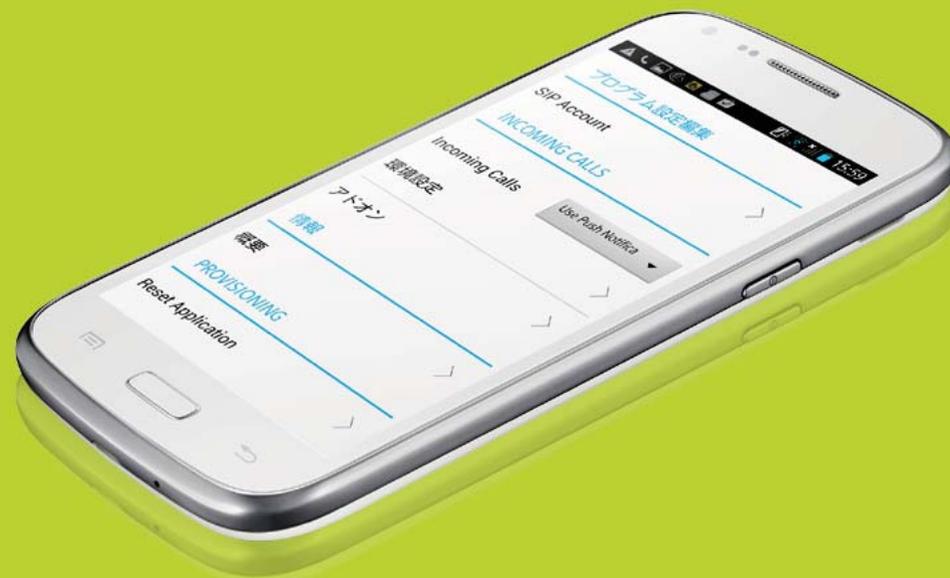
- 6 Wi-FiがONになっていればOFFに変更します。



(図50)

- 7 再度Basixソフトフォンを立ち上げて、レジストするか試してください。

※ 3Gを音声用に優先にして、通話等を試した場合に発生したパケット通信料等はお客様責任でお願い申し上げます。



7 Basixソフトフォン上のデータの 取得について

7. Basixソフトフォン上のデータの取得について

問題によっては、下記手順でデータの取得をお願いする場合があります。

【ログ取得手順】

- 1 アプリケーションを起動します。
- 2 Android設定ボタンを押し、キーパッド画面右下の「設定」をタップします。



(図51)

- 3 画面中央付近の「環境設定」をタップします。



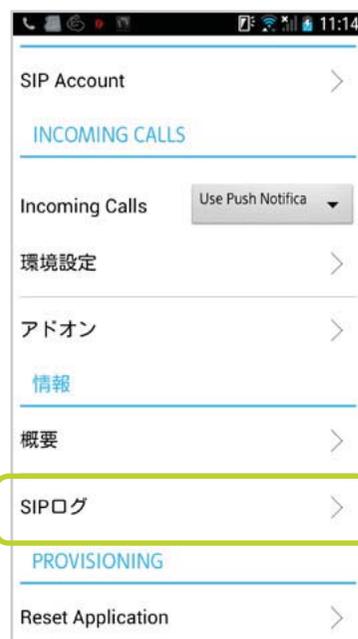
(図52)

- 4 「SIPトラフィックログ」をタップし、チェックを入れます。



(図53)

- 5 現象を再現します。
- 6 Android設定ボタンを押し、キーパッド画面右下の「設定」をタップします。
- 7 詳細設定画面を下へスライドし、「SIPログ」をタップします。



(図54)

- 8 Android設定ボタンを押し、【保存】をタップします。



(図55)

- 9 ファイル名を入力し、保存します。



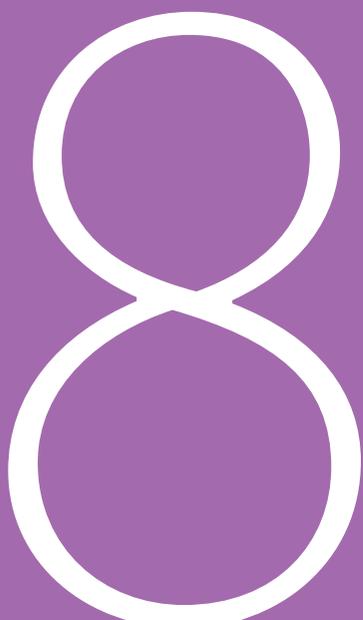
(図56)

- 10 保存したファイルをメール等に添付して送信。

※ 送信先メールアドレスについて、サポート窓口の担当にお問い合わせ下さい。



利用上の注意事項について



8. 利用上の注意事項について

8.1. Basix ソフトフォンアプリケーション上の注意点について

- 1** mobile0091 ボタン(ブラステル専用番号)は携帯電話回線の契約をお持ちでない場合、ご利用できません。
- 2** Android 端末では、電話帳または履歴の電話番号、短縮ダイヤルを長押しすると通話方法を選択するウィンドウが立ち上がります。
050ボタン(IP電話)で電話する場合は「通話」を選択、mobile 0091 ボタン (ブラステル専用電話)で電話する場合は「経由電話」を選択しタップしてください。
- 3** 電話アプリBasix ソフトフォンでmobile0091 ボタン(ブラステル専用番号)から発信し、ブラステルでの通話完了毎に電話アプリが終了し、スマートフォンの電話機能の画面に移動する仕様になっています。その画面より電話をかけると通話料はお客様が契約している携帯電話事業者より請求が発生するのでご注意ください。ご利用の都度、電話アプリを起動する必要があります。

8.2. 通信回線上の注意点について

- 1 お客様が契約している携帯電話回線で利用する場合はデータ通信料が別途請求されますので、予めご利用端末機の定額制データ通信プランに加入されることをお勧めいたします。
- 2 お客様が契約している携帯電話回線が利用できない国・地域 (例: 海外旅行中など) から電話アプリを利用するときは、国際ローミング料金が発生しないようにWi-Fiが利用できる環境でご利用いただくことをお勧めいたします。
- 3 VoIPを利用するアプリケーションに制限のあるモバイルWi-Fiルーターまたは制限のあるネットワークではご利用できない場合があります。
- 4 インターネットの速度が遅い場合は通話品質に影響があります。

8.3. ご利用機器の注意点について

- 1 一部のAndroid端末機ではご利用いただけない場合があります。
- 2 内蔵スピーカ・マイクなしの端末機からアプリを利用する際は、専用のマイク付イヤフォン(ヘッドセット)が必要です。
- 3 Apple、iPod touch、iPadは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.の商号です。iPhoneはアイホン株式会社の商標です。AndroidはGoogle Incの商標です。この商標の使用はGoogleの許可に帰属します。

8.4. 利用できないネットワークについて

Basixソフトフォンを利用する場合に利用できないネットワークがあります。

利用できないネットワークでBasixソフトフォンを接続すると、レジストが失敗します。

下記のネットワークをご利用の場合は、お客様に利用できないことを説明する必要があります。

① FOMA定額データプラン (2011/12/1現在)

FOMAハイスピード等の定額制データプランはBasixソフトフォンで利用する5060ポートを制限しています。

http://www.nttdocomo.co.jp/service/data/foma/flat_rate/function/detail/unavailable_port/index.html

下記のFOMAハイスピードサービスで利用されるデータ通信製品を利用している場合、FOMA定額制サービスを

利用しているかどうか確認し、説明が必要です。

- BF-01B
- L-02C
- HW-01C
- L-09C

尚、上記データ通信製品はXiに対応している製品もありますので、上記製品をご利用の場合は使えないということではありません。

② イーモバイル データプランB (2012/11月現在)

「イーモバイル データプランB」は通常プランの料金より安い料金プランのため、データ量の多い通信を制限しております。そのため通常のプランではBasixソフトフォンは利用可能ですが、データプランBでは利用できません。

http://emobile.jp/charge/info/planb_access.html

8.5. 管理画面設定変更が問題の場合

管理画面上で、端末機で端末割当を外した場合、レジストはできませんが、発着信ができなくなります。(※)
管理画面からDID番号、パスワードを元のDID番号、パスワードに戻します。また、端末機から端末割当を元に戻します。
端末機から端末割当が外されていないか管理画面から確認してください。



(図57)

8.6. Wi-Fi環境の品質について

WiFi環境でサービスを利用し、品質低下が発生した場合下記をチェックする。

8.6.1. APへの接続台数

APの最大接続台数の半分以下を推奨接続台数とする

例) 最大接続台数16台のAPの場合、APへの推奨接続台数を8までとする。

8.6.2. Channel分けについて

電波干渉の少ないネットワーク環境を構築するために、Channel (周波数の幅)を分ける必要がある場合があります。

Channel分けに複数アクセスポイントを設置が必要な例

- 接続する端末が多く推奨接続台数をオーバーする場合
- 障害物が多く、1つのアクセスポイントでは電波が届かない場合

1 11b/gの2.4GHzを利用する場合

11b/gの2.4GHz帯を利用し、複数のアクセスポイントを設置する場合、下記の通りChannelを分ける必要がある。

- 1ch/6ch/11ch
- 2ch/7ch/12ch
- 3ch/8ch/13ch

2 11a/nの5GHz帯を利用する場合

11a/nの5GHz帯を利用し、複数のアクセスポイントを設置する場合、下記の通りChannelを分ける必要がある。

36ch、40ch、44ch、48ch、52ch、56ch、60ch、64ch、100ch、104ch、108ch、112ch、116ch、120ch、124ch、128ch、132ch、136ch、140ch

3 Channel間の移動について

Channel間のハンドオーバー制御のためには、無線LANコントローラーが必要になります。

無線LANコントローラーとAPの設置については、ブラステルでは対応できません。

必要な場合はコネクションのあるSierに設置のお願いいたしますので、BasixTSに相談してください。

8.6.3. 11a/n 5GHz帯非対応機種 について

11.a/n 5GHz帯に端末側が対応していない場合がある。
Iphone4/Iphone4Sは11a非対応であるため11aで
無線LAN環境を構築しても利用できない。
尚、宅内での利用で、端末が対応している場合は、
b/gよりもaを推奨する。

8.6.4. 電波の届く距離と速度 について

1 距離

11b 2.4GHz帯の場合
最大伝送距離500m (障害物がない場合)

2 速度

- 100m単位

100mごとに1/10の通信速度まで低下

- 100m以内

50m⇒11Mbps

80m⇒2Mbps

100m⇒1Mbps

8.6.5. 障害物について

宅内でAPを設置する場合、また電波の通りに問題がある場合は、下記のような障害物による影響を考慮することをお伝えする必要があります。

電波を通す	減衰が発生	電波を遮る
紙、布、 プラスチック	ガラス、 ベニア板、 木材	コンクリート、 鉄、銅、 アルミ

(表1)

8.6.6. 電波干渉について

2.4GHzの電波干渉の原因となる機器は下記の通りです。

- 影響が大きい：他の無線LAN機器、電子レンジ
- 影響が小さい：Bluetooth、コードレス電話

WiFi Analyzerにて他の無線LAN機器との干渉を調査することは可能

8.7. 3G環境について

8.7.1. ビル内外の接続品質について

ビル内外の3G環境の接続品質に関しては下図参照。

	800MHz	1.5GHz~2GHz
ビルの窓際	◎	◎
ビルの中心	○	△
ビルの陰	○	△

(表2)

8.7.2. お客様宅内で3G環境が利用できない場合

利用場所で3Gの電波が十分ではない場合、宅内にフェムトセルの導入をお勧めすることができます。

<フェムトセル処理能力の目安>

待機	20端末
通話数	4ch

(表3)

注意点:

SoftbankホームアンテナFTは下記理由のためBasixが利用できない可能性があります。

Basixセキュリティー装置【FrontEnd】の導入の影響のため、Softbankのフェムトセル機器と接続する光BBユニットの下ではBasixが利用できません。

8.8. Bluetoothヘッドセットの利用について

BasixソフトフォンはBluetoothヘッドセットには対応しておりません。

8.9. 履歴の表示について

下記の場合、着信が履歴に表示されません。

- Basixソフトフォンが表に出ている状態で、同じアカウントを利用している別の端末から着信を取った場合 (※)
- Basixソフトフォンが表に出ている状態で、他のユーザーからコールピックアップ機能で電話を取った場合 (※)

※ Basixソフトフォンがバックグラウンドの状態では、履歴に残りません。

8.10. その他注意事項について

- このページに表示されるアプリのアイコンは参照用イメージであり端末により異なる場合があります。予告なしに、開発者により変更される場合がありますのでご了承ください。
- このサービスは以下の電話番号にはご利用いただけません。
119、104、110、113 などの緊急電話や案内サービスなど。
001、0033、0041など00から始まる電話番号。
0170、0180、0190、0570、0910、0990、020、060から始まる

電話番号。
一部のフリーダイヤル番号。

- IPボタンが表示されない。
Wi-Fi、モバイルデータ通信の両方がオフになっている場合、IPボタンが表示されず、mobile0091ボタンのみが利用可能になります。



(図58)



(図59)



(図60)

Basix ソフトフォン ご利用マニュアル (Android版)

